

## 「神戸親和女子大学国際教育研究センター紀要」執筆要領

(2022年8月改定)

1. 和文原稿は、タイトル、タイトル英訳、執筆者名、要旨(400字程度)、英文アブストラクト(150ワード程度)、キーワード(6個以内)、本文、注、文献で構成される。A4判用紙を使用し、横22字×縦42行×2段組で15枚程度とする。また、タイトル、執筆者名、要旨、英文アブストラクト、キーワードは1段組とする。総枚数には図・表・写真を含むものとする。
2. 欧文原稿は、タイトル、執筆者名、欧文アブストラクト(150ワード程度)、和文要旨(400字程度)、欧文キーワード(6個以内)、本文、注、参考文献で構成される。A4判用紙を使用し、行内文字数120字、各ページ行数49行で30枚程度とする。(Microsoft Wordの場合は全角の文字数を指定するため、60字を指定する。)総枚数には図・表・写真を含むものとする。なお、欧文以外の外国語の文字を使用する場合もこの原則に従う。
3. 図表などについては以下の各項に従う。
  - (1) 図表、写真、表、模様、デッサン等は、図1、表1など(欧文では、Fig. 1、Table. 1、Photo. 1など)のように記入し、本文原稿の欄外、もしくは本文中に挿入箇所を明記する。
  - (2) 図、模様、デッサンなどは明瞭に書き、可能な限り図に寸法・縮尺などを記入すること。図版等の極端に多いものは、予算を超える分については自己負担とする場合もある。
  - (3) 図、表、写真などは、本文に比べてなるべく少なくする。
4. 和文原稿での外国人の人名、地名などの固有名詞は、原則として原語とする。また初出の際、必要に応じて訳語を( )で後続させる。
5. 和文原稿の参考文献や引用文献は、本文の終わりに「文献」の見出しで、著者の姓を基準にしてアルファベット順に一括して記載すること。
6. 数式、化学式などは、その上と下を1行ずつ空けて書くこと。
7. 校正は、原則として、投稿者の責任において行うものとする。

ただし、投稿者がやむを得ない事情で校正することができない場合は、投稿者は校正の方法・内容などを編集委員会に一任するものとする。